

台地遺跡頃

遺跡の立地から見る根郷の歴史

さん

しょう



城次郎丸遺跡出土
提瓶



六崎大崎台遺跡出土
弥生土器 壺



六崎貴舟台遺跡出土
注口土器



石川阿ら地遺跡出土
天目茶碗

航空写真：京葉測量株式会社

2011年12月10日(土) ▶ 2012年6月29日(金)

このたび財団法人印旛郡市文化財センターは、設立以来27年間所在した佐倉市鎧木町から佐倉市春路へと移転いたしました。根郷地区と呼ばれるこの地域には、旧石器時代から近世に至るまで多くの遺跡が立地しており、これまで当センターにおいてもたびたび発掘調査を実施してきました。

今回の企画展では、移転記念といたしまして当センターの所在する台地に焦点を当て、北は大崎台、南は第三工業団地までの地域に立地する遺跡を中心に、これまでの調査成果を踏まえて時代ごとの台地利用の変遷についてみていきたいと思います。

旧石器時代

約3万年前～

この台地上の人々の活動は、古いものでは旧石器時代まで遡ります。この時代の活動が認められる遺跡には、栗野I・II遺跡や木戸場遺跡A地点などがあります。それらの遺跡のほとんどは、現在第三工業団地のある台地の中央付近に集中しており、出土遺物からも活発な石器製作を行っていたことが窺えます。



木戸場遺跡 A 地点出土石器（細石刃石器群）



栗野I・II遺跡出土石器（石刃石器群）

古墳時代

3世紀～

古墳時代に入ると、畿内に大和王權と呼ばれる統一王權が成立し、その影響の下で全国各地に古墳が造られるようになります。この時代の遺跡は、大きく分けて集落と古墳があり、当台地上では中心部ではなく縁辺部で確認されています。両者は近接して作られておらず、居住域と墓域の明確な住み分けが行われていたと考えられます。また、後期～終末期（6～7世紀）の群集墳は河川の最奥部につくられることが多く、南部川上流に築かれた岩富古墳群も同様の意識のもとに造営されたと思われます。



大作遺跡の古墳群



池向遺跡（野中5号墳）



城次郎丸遺跡出土 須恵器 提瓶

縄文時代

約1万5,000年前～

縄文時代になると、城山ノ作遺跡では、早期の集落が営まれていました。その後神門房下遺跡や六崎貴舟台遺跡に代表されるように、中期の中頃から終わりにかけて多くの集落がみられます。縄文時代を通じて、台地の中央ではなく縁辺部に集落を営む傾向があり、この台地でも同様の特徴がみられます。



城山ノ作遺跡 大形竪穴住居跡



六崎貴舟台遺跡（第10次）31号土坑内遺物出土状況



六崎貴舟台遺跡（第10次）
31号土坑出土 瓢形注口土器

弥生時代

約2,500年前～

弥生時代は遺跡の数が多くなり、中でも「環濠集落」で著名な六崎大崎台遺跡からは、弥生時代中期の大集落と、その外側に墓域が造られ、台地を広く利用した集落が営まれていました。また周辺には、同時期の小規模な集落や墓域が存在しており、当時この台地が地域集団の拠点的な集落として機能していたと考えられます。



六崎大崎台遺跡の環濠集落



六崎大崎台遺跡出土 壺



寺崎向原遺跡の方形周溝墓群



六拾部遺跡



(左)土師器香炉蓋 (右)土師器香炉



土師器杯（墨書き土器「白井寺」）

奈良・平安時代

8世紀～

奈良・平安時代になると、現在の白銀ニュータウンとその周辺には、印旛郡を治めていた有力者の居宅や寺院とされる遺跡がありました。そこから高崎川を挟んだ南側にある当台地には、国道51号線とほぼ同じルートで古代の道があったと考えられ、仏教に関連した遺跡がこの道沿いに集中しています。この道を南下すると「白井寺」と呼ばれていた村のお堂があつた六拾部遺跡があります。長熊廃寺の僧侶などがこの道を往来し、当地域に仏教信仰を浸透させたと思われます。

中世・近世

12世紀～

中世になると、主に台地北東部と南西部に中小の城が築かれるようになります。台地の北東約5kmには下総国を治める千葉氏の本拠である本佐倉城があります。特に石川館址は千葉氏の近臣の館とされ、土塁と空堀に囲まれた館内部には建物跡が見つかっており注目されるものです。また、城城は狼煙を上げるための城と考えられており、城それぞれに役割がありました。

近世になると、政治の中心が佐倉城に移り中世に築かれた城はほぼすべて廃城となります。そのころの根郷一帯は、台地の東寄りに佐倉道が通り、今の姿と異なり八つ手状の台地の先端部に六崎村、寺崎村などの村々が立地していました。中世・近世を通して根郷一帯は政治・経済・文化の中心地に近接しており、その趨勢を感じることのできた土地なのでしょう。



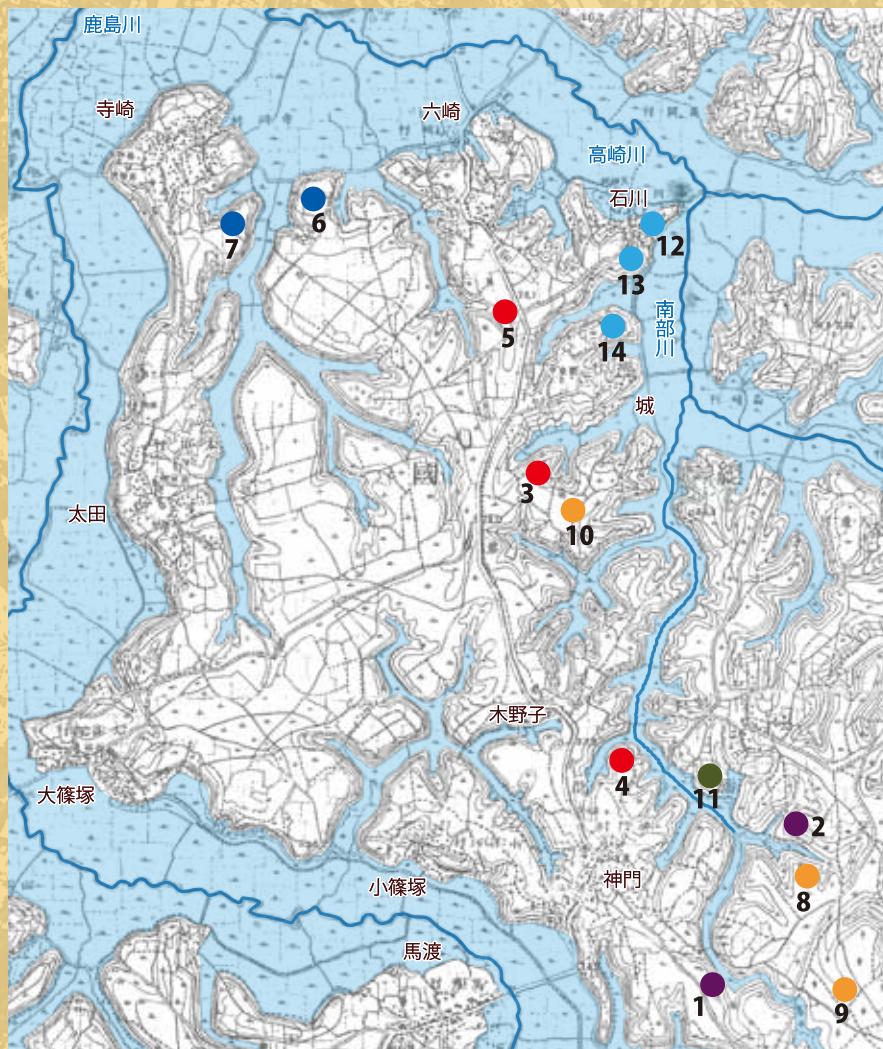
石川阿ら地遺跡



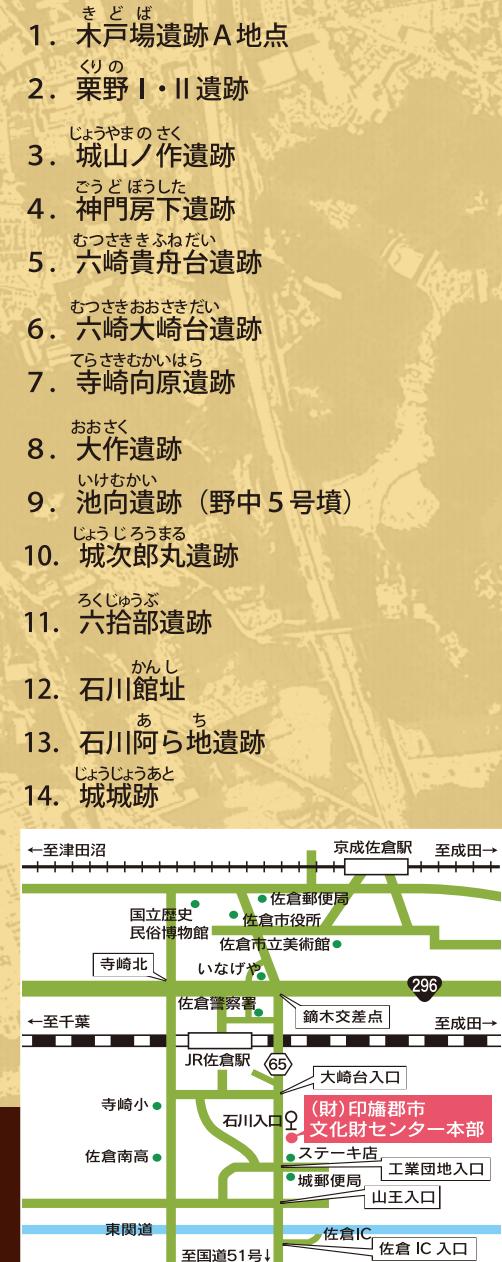
石川阿ら地遺跡出土 天目茶碗



石川館址 地下式坑出土 かわらけ



今回取り上げた遺跡（参考本部陸軍部測量局作成迅速図『佐倉』明治十五年を改変して使用）



財團法人 印旛郡市文化財センター

佐倉市春路1-1-4 TEL 043-484-0126 FAX 043-485-9871
<http://www.inba.or.jp/>